

最新型ハイブリッドバスに第二世代バイオディーゼル燃料を使用したデモ走行を開始 世界初の試み ～新しい発想による東京発の低CO2バス～

東京都、新日本石油株式会社、トヨタ自動車株式会社及び日野自動車株式会社は、水素化処理技術による第二世代バイオディーゼル燃料(以下「BHD※」という。)の実用化に向けた検討を行ってきましたが、このたび、最新型のハイブリッドバスにこのBHDを使用するデモ走行を行うこととしましたので、お知らせいたします。

このデモ走行は、日本の優れた燃料技術と車両技術との組み合わせによって、CO2を従来に比べて約25%削減するもので、BHDを使用したハイブリッドバスでの営業運行は世界で初めてとなります。

なお、このバスは、平成19年10月26日から開催される東京モーターショー(会場:千葉市・幕張メッセ)に出展し、試乗走行を行う予定です。

※ BHD(Bio Hydrofined Diesel)は、新日本石油が商標登録出願中。

- 1.運行期間:平成19年10月10日から平成20年3月末日まで
- 2.導入営業所:東京都交通局渋谷自動車営業所
- 3.運行系統:都バス 都01系統 (渋谷駅～六本木駅経由～新橋駅間)
- 4.使用燃料:新日本石油及びトヨタ自動車が共同で開発したBHDを10%配合した軽油
- 5.使用車両:日野自動車製ハイブリッドバス 2両

以上

● 別添資料

 [バイオディーゼル燃料およびハイブリッドバスについて\(289.0KB\)](#)